



輝け！北っ子！

第2回二本松市小・中学生ビブリオバトル大会開催 ～人を通して本を知る 本を通して人を知る～

「ビブリオバトル」とは

立命館大学情報理工学部の谷口忠大教授が考案した、ゲーム感覚を取り入れた新しいスタイルの「書評合戦」です。発表参加者（バトル）たちがおすすめ本を持ち合い、持ち時間で書評した後、バトルと観客が一番読みたくなった本、「チャンプ本」を決定します。（<https://zenkoku.bibliobattle.jp/bibliobattle> より）

28日、安達公民館／安達文化ホールにおいて第2回二本松市小・中学生ビブリオバトル大会」が開かれました。北小からは6年伊藤桃香さんが代表として参加しました。紹介してくれた本は「私の苦手なあの子（朝比奈蓉子著）」でした。

多くの人の前、そして、大きな会場にも関わらず、歯切れのいい語り口、身振り手振りを入れながらの表現で、自分の経験を踏まえながらしっかりと本の魅力を伝えてくれました。3分という決められた時間の中で聞いている人を「本を読みたくする」という難しい課題に向かって堂々とプレゼンテーションをする桃香さん。さすが北小の代表といった感じでした。

自分の発表だけでなく、他の学校の子の発表に対しても積極的に質問をする姿も見られました。+αの心が随所に感じられました。

これからの時代は、より自分の意見を自分の言葉でしっかりと伝える能力はとても重要な力となってきます。多くの人にも挑戦してもらいたいと思って見てました。

結果は・・・予選を通り、決勝に進み、見事第2位「準チャンプ本」に選ばれました。おめでとうございます。



本の寄贈

～二本松交通安全母の会・婦人会様～

二本松交通安全母の会・婦人会様から図書の寄贈がありました。新しい本、楽しい本は子どもたちは大好きです。

多くの子どもたちが手に取ることになると思います。本当にありがとうございました。



保護者の皆様からの声をお待ちしています。

～学校に対するご意見・ご感想等お気軽にお寄せください（または assist.nihonmatsukita-e@fcs.ed.jp まで）～

..... 切り取り線

